

開催日時：2025年2月19日（水）10:00-12:00, 13:00-14:00

開催方法：対面

開催場所：埼玉大学 環境社会デザイン学科棟1号館 2階会議室

参加者：15名程度

講演内容

2月19日 10:00-12:00

タイトル：進化する防災気象情報 ～キキクルの概要と今後の情報改善～

発表者：気象研究所応用気象研究部 主任研究官 太田琢磨

要旨：気象庁では、大雨時に市町村が発令する避難指示の発令判断や住民の避難の判断等を支援するため、大雨や洪水に関する警報・注意報、気象情報を発表するとともに、キキクルという災害危険度情報を気象庁のウェブサイトで公開しています。発表では、キキクルの算出方法や警報の発表の仕組みなどを紹介するとともに、今後大きく変わろうとしている防災気象情報について、検討の背景や改善の方向性などをお話ししたいと思います。

2月19日 13:00-15:00

タイトル：最新の台風研究と海外で仕事をする事の魅力

発表者：気象研究所応用気象研究部 主任研究官 山口宗彦

要旨：お隣の群馬県の高校を卒業後、気象大学校に入学しました。卒業後は、ずっと台風に関する調査や研究を行っています。発表では、気象庁が発表する台風予報がどのように作られているのか、また最新の台風研究動向などを簡単に紹介したいと思います。また、これまで、米国マイアミ大学への留学、世界一の予報精度を誇るヨーロッパ中期予報センター（英国・レディング）での客員研究員、世界気象機関（スイス・ジュネーブ）と、海外で仕事をする機会に恵まれました。海外で仕事をする魅力なども私の経験に基づいてお話できれば幸いです。

気象研の太田氏と山口氏に合計4時間にもわたりご講演いただきました。参加者の教員、学生から熱心な質問もなされ、大変有意義な勉強会となりました。



講師のお二人（左：太田氏、右；山口氏）



聴講者